

ナルホド!

びっくり!

デンタルコラム

column

1

「歯周病」がギネス世界記録®認定!?

ギネスワールドレコーズ®には、「全世界で最も患者が多い病気は歯周炎などの歯周病である。地球上を見渡しても、この病気に冒されていない人間は数えるほどしかない。」と書かれており、日本でも成人の約8割が歯周病をわずらっていると言われています。予防のためには、毎日のセルフケアはもちろん、定期的に専門家のチェックを受けることも重要です。



column

2

8020運動って何?

人は20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足できると言われています。8020運動とは、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動で、「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めて始まりました。1989年から厚生省(現・厚生労働省)と日本歯科医師会が推進しています。



日々の積み重ねで美しい歯へ

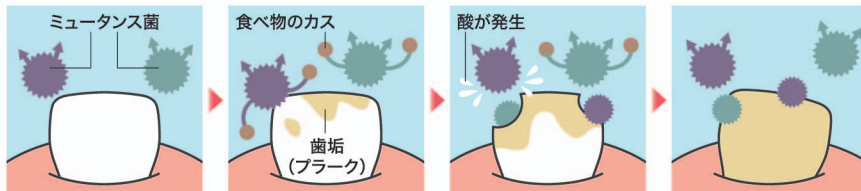
オーラルケア の すすめ

近年、「トータルビューティー」という観点から、歯のケアにも注目が集まっています。会話中や笑顔の写真など、人の注目を集めやすいパーツでもある口もと。肌や髪と同じように、安心して使えるアイテム選びと丁寧なケアを心掛けたいですね。

トラブル

原因は食べカスの糖分！

2 虫 歯



口の中には、虫歯のもとになるミュータンス菌という細菌が存在しています。

ミュータンス菌が食べ物の残りカスを取り込むことで歯垢(ブラーク)を作ります。

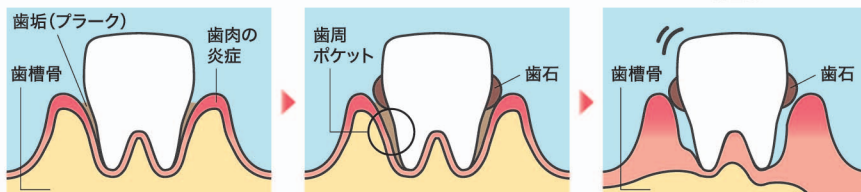
歯垢の中に菌が増殖し、残りカスに含まれる糖質を発酵させて酸をつくります。

酸に弱い歯の表面のエナメル質が溶かされ、虫歯になります。

トラブル

歯を失ってしまう危険も！

3 歯 周 病



磨き残した食べカスなどが歯垢(ブラーク)になり、歯ぐきに炎症を起こします。

歯と歯ぐきの間に入り込んだ歯垢が、固い歯石に変化し、歯周ポケットを作って細菌の増殖を促します。

細菌が歯を支える歯槽骨を溶かすと、歯はグラグラしはじめ、最終的には抜け落ちてしまいます。

次のページでは、**歯のトラブル予防**にオススメの注目成分をご紹介します！

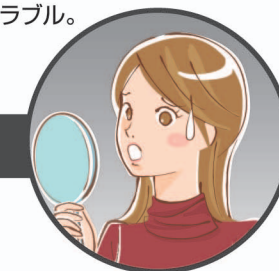


の 3大トラブル



知っておきたいメカニズム

誰もがきっと一度は悩んだことのある、歯に関する3つのトラブル。意外と知らないメカニズムを解説します！



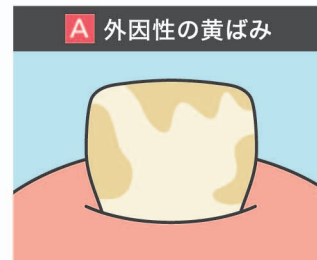
トラブル

印象を大きく左右する

1 黄ばみ

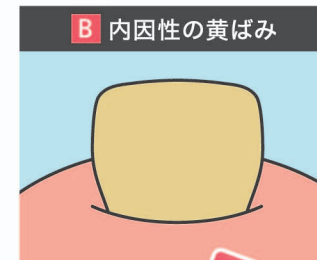
黄ばみには2種類あります。あなたの黄ばみはどっちのタイプ？

A 外因性の黄ばみ



タバコやコーヒーなど色素が歯の表面に付着

B 内因性の黄ばみ



歯が全体に黄ばんでいる

or



歯の色の見え方は **“エナメル質の厚み”** が関係していた！

歯には象牙質とよばれる色がついた組織があり、その上を透明のエナメル質が覆う構造になっています。このエナメル質の厚さは遺伝するといわれており、薄い人は象牙質の内部の色が見えやすいため、歯が黄ばんで見えてしまいます。また、加齢によってエナメル質の厚さは薄くなるため、年齢を重ねると黄ばみが気になるようになるのです。

